



くり やま こう すけ
栗山 康輔

生年月 1988年9月大阪府生まれ
最終学歴 2014年神戸大学大学院
工学研究科建築学専攻修了
業務経歴 2014年(株)竹中工務店入社
現在、開発計画本部
チーフプランナー

- 担当した主なプロジェクト
- 2015年 天王寺公園再整備てんしば
- 2018年 天王寺動物園ゲートエリア
魅力向上事業てんしばi:na
- 2018年 三菱重工長崎幸町向上跡地
土地売却コンペ
- 2020年~中之島5丁目土地区画整理
事業
- 2022年 難波宮跡公園整備運営事業者
公募型ポラゴザル

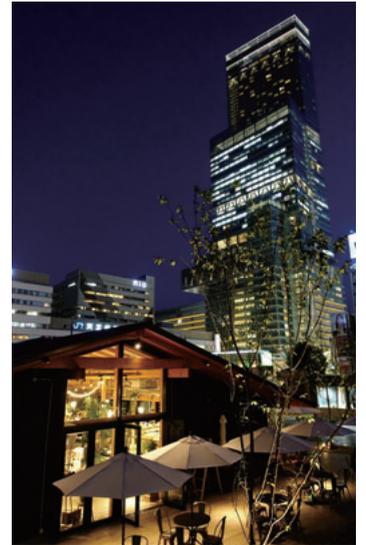
■青年技術者のことば

私は都市を、新たな価値を生み出す場として考えています。都市には、人が集まり様々な活動を行っている高い機会密度の中で、高頻度に交流が生じる「創造的環境」があり、その中で新たな技術やアイデアが生まれ、より豊かな社会への成長につながってきました。これまでは、高い容積率を用いて集積された大規模建築をつくれれば人が集まり「創造的環境」を形成できていました。しかし、人口減少や自然環境への懸念、covid-19によるライフスタイルの変化、建設費高騰など、時代の変化によってそれは成り立たなくなりつつあります。そのため創造的環境の形成に向け、規模だけではなく空間の魅力や機能に目を向けた「高付加価値な建築・まち」をつくる必要があると考えています。私は「高付加価値な建築・まち」を、①人が集まる魅力、②誰でも使える活動の場、③周辺に影響を及ぼす広がり、以上3点を持つ建築・まちとし、それらを備えた計画実現のため、日々の業務に取り組んでいます。高付加価値な建築・まちによって創造的環境を持つ都市を維持し、豊かな社会をつくることに寄与していきます。

■すいせん者

黒川賢一
(株)竹中工務店 開発計画本部
西日本3グループ長

都市公園の価値向上 -てんしば・てんしばi:na-



低未利用地の価値向上 -中之島5丁目地区 土地区画整理事業・地区計画-

中之島5丁目地区は複数企業が土地を所有し土地区画整理事業を進めるエリアです。エリア価値向上のため、地権者を集めてワークショップを重ね、合意形成を促し地区計画を設定しました。地区計画の狙いの1つは歩行者ネットワークの形成です。スーパーブロックである中之島5丁目街区の内外に歩行者空間を形成すると共に、安全性・快適性を確保するため、車両動線の集約を図りました。



地権者とのワークショップの様子



中之島5丁目地区地区計画説明図